

施設名	概要・特色	課題	資料	学芸員
町田市立国際版画美術館	○版画を中心とした美術館である。 ○版画を「見る」(展示)、「作る」(工房・アトリエ)、「発表する」(市民展示室、講堂)を三つの柱とし、美術との多様なかわりができる。 ○展示されていない作品は申し込み制で有料の特別閲覧制度により個人で鑑賞することができる。このシステムは海外ではよく見受けられるが日本ではまだまだ少ないユニークな作品公開法である。 ○普及事業として、版画制作を中心とした講座、ワークショップ、公開制作などを行っている。	○交通アクセスの改善(高齢社会対策) ○情報化社会に対応した情報発信力が求められている。 ○教育への活用	○版画を中心とした美術作品、および美術に関する資料 (約21,000点)	9(1)
町田市フォトサロン	○当初は、秋山庄太郎氏の寄贈写真を展示するための美術館として開館したが、氏の作品が撤収されることになったため、2008年4月から芸術写真の展示ができなくなった。2009年4月より「市民の写真その他の文化芸術に関する活動の場を提供し、もって文化芸術の振興に寄与する」ことを目的とする施設(貸し館)へと施設目的を変更した。	○知的障がい者の就労の場 ○単なる貸館業務だけの施設にならないための事業の工夫	なし	1
町田市立博物館	○町田市に密着した郷土資料と、世界文化史的視点から収集された美術工芸資料がある。 ○日本国内では他に追随を許さない、質と量のコレクションがある(チェコガラス/中国ガラス/大津絵/東南アジア陶磁) ○多様な内容の企画展を行っている。(公立で初の「まんが展」も開催した)	○老朽化 ○狭隘化(収蔵庫) ○立地の悪さ(アクセス、急坂、駐車場の狭さ) ○考古資料の未整理(担当職員がいない) ○収蔵庫の構造上の問題(温湿度の設定が出来ない) ○生涯学習機関、地域の文化資源としての役割	○民俗資料(郷土資料/農耕・養蚕史資料/民間信仰資料) ○歴史資料(考古資料/古地図/古文書/錦絵/漫画風刺画) ○美術工芸品(陶磁器/ガラス/大津絵/仮面/漆工/染織/金工) (約16,000点)	3
自由民権資料館	○自由民権運動及び町田の歴史に関する資料の収集、保管、閲覧、また常設展示「多摩の民権/町田の民権」のほか年2回の企画展開催などを行っている。 ○市史編纂事業の引き継ぎ機関でもあることから、市域の歴史資料(古文書類)の保管・利用をはじめ、市域の歴史に関すること全般を担っている。	○史料整理(約20年必要) ○新規の史料受け入れが困難、市史改訂版の刊行の検討に入る必要があるが人員不足 ○学芸担当職員の人員増が欠かせない問題	市内の歴史資料(古文書類など)、自由民権運動関係資料 (約30,000~50,000点)、「借用」状態のものを含めたらこの2~3倍になる)	1(3)
町田市考古資料室	○施設の大半は収蔵と作業スペースで占められ、市内で考古資料を常設展示する施設が他にないため小規模な展示スペースが設けられた。町田市は都内の遺跡のうち約20%が集中する遺跡の宝庫で出土資料は20万点を越えるが、展示スペースが限られているため大半を公開することができていない。 ○資料数は20万点を越え、特に縄文時代に関する資料は質・量ともに全国有数のものである。	○保管場所確保 ○保管場所の環境(温度、湿度の変化が著しい) ○不便な立地 ○開館日数を制限せざるえない(予算の問題) ○人員不足(見学者の質問に答えたり、展示解説ができる人員が配置できない)	○考古資料、発掘調査に関連する記録写真・図面、発掘調査報告書など (整理用コンテナ約11,300箱、20万点以上)	0
町田市ふるさと農具館	○市民の農とのふれあいの場及び、地域交流の場を提供するためその中心的施設として設置され、その目的を達成するため昔から使われてきた農具及び農業の歴史に関する資料の展示館として、さらに農の伝承施設として機能している。 ○野津田見本園で収穫した菜種を使用した油絞りの実演と菜種油の販売や、七国山そばの販売もしている。	○農具の劣化(展示が不可能なものもある) ○保管場所不足 ○農具は重たいため出し入れに危険が伴う。	○昔から使われてきた農具や農業の歴史に関する資料。 (446点)	0
がにやら自然館	○自然資源を生かした自然観察会や体験学習などができる。 ○施設内には、講習室や展示室などがある。	○展示の専門職員がいない ○資料の寄贈を受けても管理や展示についての人員が不足	○昆虫標本、写真パネルなど (約755)点	0(1)
萬葉草花苑	○万葉集に詠まれている70種の草花のほか260種の山野草が植栽されている。 ○管理監視業務委託を障がい者の就労の場として活用している。	○専門知識を持った職員がいない。	○万葉集に詠まれている草花 (約70点) ○その他山野草 (約260点)	0
かしの木山自然公園	○消え行く自然環境を危惧し、将来にその大切な自然を残すために1万人の署名活動をきっかけに実現した公園。「かしの木山自然公園愛護会」による自主的な運営を行っている。	○自然環境活動やボランティアの高まりへの対応 ○運営の問題(各団体の交流、高齢化)	なし	0